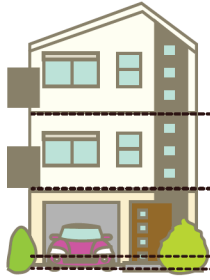


5 ため池浸水想定区域図【ひつ池】

ため池決壊時浸水想定区域

最大浸水ランク

浸水状況

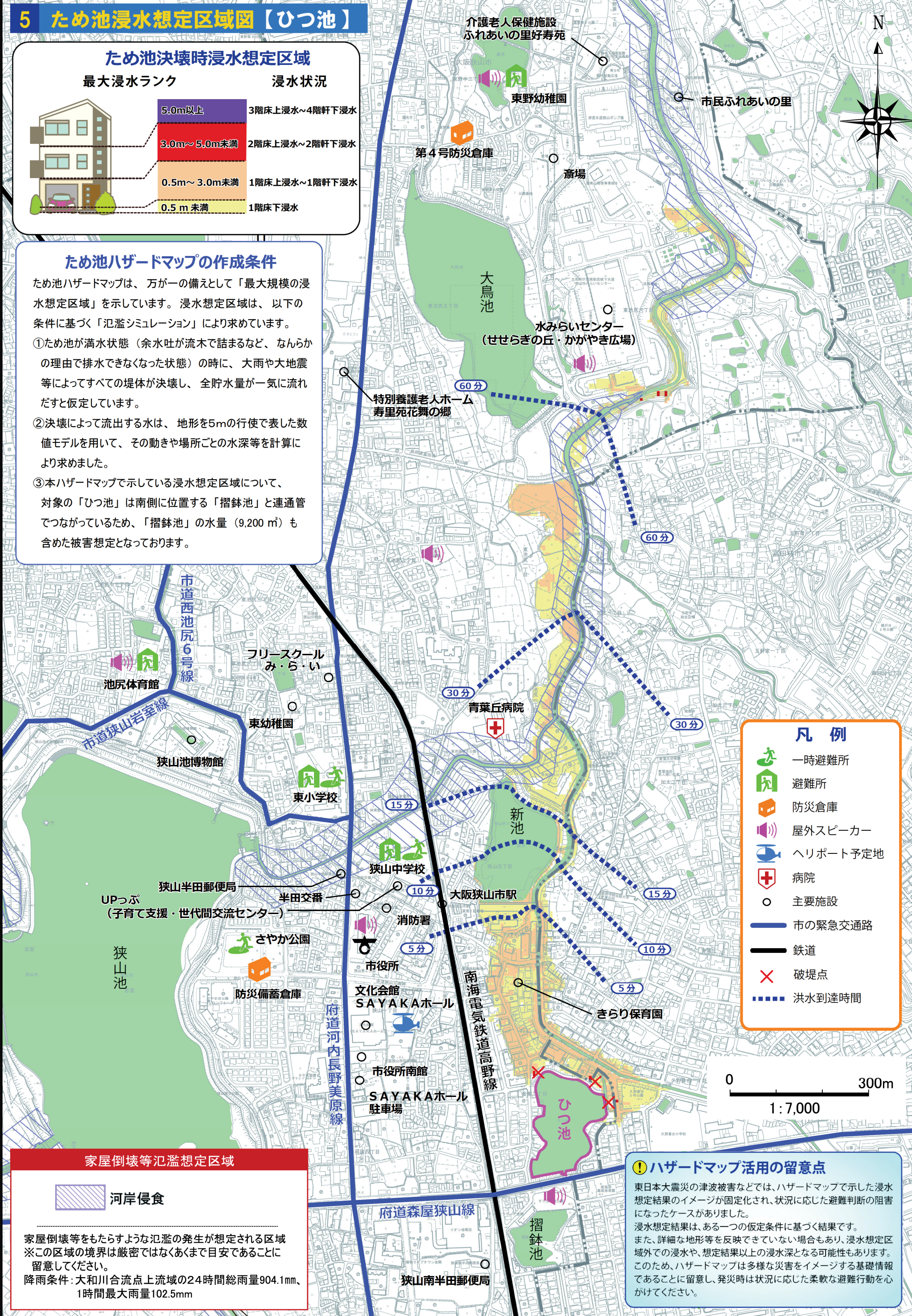


5.0m以上	3階床上浸水～4階軒下浸水
3.0m～5.0m未満	2階床上浸水～2階軒下浸水
0.5m～3.0m未満	1階床上浸水～1階軒下浸水
0.5m未満	1階床下浸水

ため池ハザードマップの作成条件

ため池ハザードマップは、万が一の備えとして「最大規模の浸水想定区域」を示しています。浸水想定区域は、以下の条件に基づく「氾濫シミュレーション」により求めています。

- ①ため池が満水状態（余水吐が流木で詰まるなど、なんらかの理由で排水できなくなった状態）の時に、大雨や大地震等によってすべての堤体が決壊し、全貯水量が一気に流れだすと仮定しています。
- ②決壊によって流出する水は、地形を5mの行使で表した数値モデルを用いて、その動きや場所ごとの水深等を計算により求めました。
- ③本ハザードマップで示している浸水想定区域について、対象の「ひつ池」は南側に位置する「摺鉢池」と連通管でつながっているため、「摺鉢池」の水量（9,200 m³）も含めた被害想定となっております。



凡例

- 一時避難所
- 避難所
- 防災倉庫
- 屋外スピーカー
- ヘリポート予定地
- 病院
- 主要施設
- 市の緊急交通路
- 鉄道
- 破堤点
- 洪水到達時間

家屋倒壊等氾濫想定区域

河岸侵食

家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域
 ※この区域の境界は厳密ではなくあくまで目安であることを留意してください。
 降雨条件：大和川合流点上流域の24時間総雨量904.1mm、1時間最大雨量102.5mm

ハザードマップ活用の留意点

東日本大震災の津波被害などでは、ハザードマップで示した浸水想定結果のイメージが固定化され、状況に応じた避難判断の阻害になったケースがありました。浸水想定結果は、ある一つの仮定条件に基づく結果です。また、詳細な地形等を反映できていない場合もあり、浸水想定区域外での浸水や、想定結果以上の浸水深となる可能性もあります。このため、ハザードマップは多様な災害をイメージする基礎情報であることに留意し、発災時は状況に応じた柔軟な避難行動を心がけてください。